

石川県安全運転研修所の令和5年度管理状況

様式 1

施設所管課	石川県警察本部交通部運転免許課
施設管理者	(一財)石川県交通安全協会
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
中期経営目標 (R5～R9)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数については、現在の水準を下回らないよう更なる利用促進に努める。 ・利用者アンケートによる満足度については、引き続き95%以上を維持する。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>施設利用者の利便向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修課長が、毎月1回、全職員に利用者に対する親切、丁寧な対応について教養を実施 ・研修生の待合時間を利用した事故防止対策として、待合室に動体視力計、夜間視力計を設置 ・待合室で啓発ビデオを放映 ・衝撃体験研修場所の寒暖対策として、ヒーター及び扇風機を設置 ・安全運転診断シートにより指導内容を充実 ・安全運転チェック表を作成し、運転診断に的確に対応 ・案内チラシ及びホームページを分かりやすい表現に変更 ・研修所のホームページでメールでの問合せに対応 ・リフレッシュコース（普通車）及び貸しコースの予約に石川県公共施設予約サービスシステム「よやくーる」を利用 <p>自主事業の企画実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定休日を毎週水曜日とし、土・日曜日の利用者ニーズに対応 ・高齢者の利用促進のため、高齢者に対して利用料の一部助成を実施
② 広報活動	<p>研修所に関する広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県交通安全協会のホームページに、免許の取得挑戦やコース別の研修内容を掲載 ・交通安全キャンペーン・交通安全県民大会等行事開催時に「研修所利用案内」チラシを配布 ・石川県交通安全協会機関誌「こうつういしかわ」に研修所の利用案内を掲載 ・更新時講習の際に研修所のミニパンフレットを配布 <p>関係機関との連携による広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県安全運転管理者協議会と連携し、加盟事業所への広報を実施 ・石川県農業機械研修所への広報

(2) 令和6年度における取組内容の見直し等

実施内容
<p>知識、技能と円満な社会常識を備えた研修指導員体制を確立し、県内に居住する自動車運転者を対象に、交通事故実態に対応した実践・体験型の研修を実施し、研修者の運転技術とマナーの向上を図り、多様な交通環境に適応できる運転者を育成する。</p>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R元 年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比	基準値比	R7年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	4,536人	4,345人	4,298人	4,128人	96.0%	91.0%	4,600人
(2) 貸館稼働率 (%)					.0 _対	.0 _対	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	100.0	98.1	98.1	100.0	1.90 _対	.0 _対	95以上
施設の維持管理 (%)	99.4	96.2	96.1	98.8	2.70 _対	-.60 _対	95以上

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	リフレッシュコース及びチャレンジコースの利用者数減少が貸しコース利用者数増加分を上回ったため	リフレッシュコース及び貸しコースの利用者数が減少しているため
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果（令和5年度実施 有効回答数88件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	78.4	21.6		
施設の維持管理 (%)	87.5	11.3	1.2	

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	・ 毎日実施（業者に年間契約で委託）
(2) 設備保守点検	・ 自家用電気工作物保安管理業務 隔月 1 回（業者に年間契約で委託） ・ 石川県安全運転研修所設備点検等業務 毎月 1 回（業者に年間契約で委託）
(3) 植栽維持管理	・ 職員が年間を通して随時実施
(4) 警備	なし
(5) 小規模修繕	

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・ 緊急事態発生時の対処要領に基づき対応
(2) 個人情報の管理状況	・ 申込書、教習原簿等は研修課長が施錠のできるキャビネットに保管 ・ 受付窓口に分離衝立を設置 ・ 多人数の受付は、研修室にて書類記入後、個別に受理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
リフレッシュコース	4,941	0	
チャレンジコース	9,977	0	
貸コース	224	0	
原付講習	470	0	
合計	15,612	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	0	人件費	12,663
利用料収入	15,612	光熱水費	1,599
その他	24	修繕費	50
		委託料	1,302
		その他	1,205
合 計 ①	15,636	合 計 ②	16,819
収支差額 ①-②	-1,183		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和5年4月	いつでも試験コースでの練習ができるようにしてほしい。	実技試験中は利用できないことを説明し、理解してもらった。
令和5年5月	コース内の番号標識を見やすくしてほしい。	番号部分にペンキを上塗りした。
令和5年7月	自分の車で運転したい。	補助ブレーキが付いた教習車での運転について説明し、理解してもらった。
令和5年10月	コースが狭い。	講習内容によっては試験コースを利用できることを説明した。
令和5年11月	あおり運転の対処などの研修項目があれば良い。	要望があれば講習ができるように検討しますと伝えた。
令和5年11月	新しい車で研修してみても良いのでは。	限られた予算の範囲内で行っており、現行車の点検整備を万全に行っている。
令和6年1月	車両から少し「ゴゴゴ」という音がした。	点検時に修理した。
令和6年3月	走行コースのひび割れがすごい。	地震による影響で、修理依頼していることを説明した。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応

8 その他報告事項など

<ul style="list-style-type: none">・降雪時のコース内除雪作業の実施（冬期間に随時実施）・コース内の草刈り、溝掃除等の実施（年間を通じ随時実施）・研修所正面玄関ドアの修理及び鍵の取替（3/19実施）・令和6年能登半島地震による影響 事務所施設及び研修コースの損壊 研修コース外周及び二輪車コースの路面亀裂、路肩沈下 正面玄関出入口外側フロアの沈下、扉の傾き、男子トイレ内タイル壁面の一部剥離等

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートにより、意見や要望把握に努め施設運営に活かすことでサービスの質を向上させている。 ・ホームページへの掲載、交通安全キャンペーン時の研修所広報パンフレット配布等により、利用促進に努めている。 ・開所時間を1時間30分早め午前7時30分としているほか、土・日曜利用者に対応するなど、利用者の利便性向上を図り、利用促進に努めている。 ・新型コロナウイルス等の感染症防止対策を徹底し、利用者が安心して利用できるよう努めていた。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内は清掃業者や職員により、常に清潔が保たれており、仕様書等に基づき管理の徹底を図っているほか、電気設備や施設設備についても保守委託することで適正な管理がなされている。 ・施設の設備については、老朽化が否めないところであるが、職員の日常点検等により、施設、設備の維持管理が保たれている。 ・各種備品については、台帳と現物照合を定期的を実施するなど、適正な管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に関する教養研修・講習が定期的に十分行われている。 ・緊急事態発生時の管理・連絡体制は整えられており、あらゆる事態を想定した、招集や避難誘導の教養が職員全員に周知されているなど、必要な安全対策が講じられている。 ・個人情報の適正管理を図るため、利用申込書、教習原簿を施錠できるキャビネットに保管しているほか、受付窓口には衝立を設置し、多人数の受付であっても、個人受付を行い個人情報の漏えい防止に努めるなど、適切な情報管理がなされている。 ・車内消毒等の感染症防止対策が講じられている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に即した管理運営がなされており、体験・実践型の安全教育の専門的スキルを活用した研修内容であり、継続した利用促進に取り組んでいる。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

中期経営目標における利用者数の目標実現に向けた取組に期待する。